

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	緊急時や事故発生時に落ち着いて、行動するための知識が必要である。	急変時や緊急時に迅速に対応できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時マニュアルの不足等ないか再確認する。 ・定期的に訓練を行なう。 ・ミーティング時に「こうなったらどのように対応するか」の話し合いを行なう。 	6ヶ月
2	37	入居者が自分の希望を表に出せる機会が少ない。	本人の希望、要望を聞く機会を設け、叶えられるよう努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に話しをする機会を設ける。 ・おやつ時や入浴時に話を聞くように心がける。 ・希望内容によってはご家族の協力を得る。 	6ヶ月
3	26	ご本人の状況をご家族に報告する機会が少ない。	ご家族とご本人を交えて話しをする機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン更新時に状況報告や今後について話しをする時間を計画する。 ・ご家族が気軽に立ち寄れる雰囲気作りを行なう。 	6ヶ月
4	48	個人に合わせた気分転換の提供が不足している。	個別外出の機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・2. 3回/週は個別に外出を計画する。食事だけではなく、買い物やおやつ外出なども取り入れる。 	6ヶ月
5	6	安全確保の為、ベッド柵を使用している方がいる。	ベッド柵を使用しない時間を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・柵を外しても可能な時間の把握をする。 ・使用しないでも良い時間は極力外すように努める。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。